



女  
子  
語  
三

遠 13  
1784  
2



雨月物語巻之三

佛法僧

やとに國望をく。其作業をたれしあまりに其の衆乃

下に息をひ。秋ハ錦の林を尋ね。あつね火に統業路もあつて

たと橘屋うらす人の。富士統波に頼くとんりしをたて

ゆるるれ。存続乃相可といふる。孫志良の人世に中へ翻

は懐中忘るもや。既ちるて。名紙後致とあつて。長末乃

よ病まびくして。被此乃膝履と老れあのみとする。幸子此に活

するもの。がせ長乃頼る。紙を金ひく。京の人見を向とて

一月あまう二条に別業よ返すりく。三月の末吉此に奥乃記

と見く。知出る寺院よ七日をりかて。ひけつのでよ。ついで



言聖山孤足を。いざさう。及れを。先き此れ。後さびけつ。天の川といふより。論く。摩尼乃清山といふ。乃のゆくて乃嶮。したよる。も。おも。も。日か。ふ。乃。檀場。法堂。靈廟。あり。た。く。お。め。り。く。お。に。お。か。ん。と。い。と。ゆ。の。よ。さ。り。の。の。に。お。か。り。人。の。お。乃。授。と。さ。け。た。寺。院。信。坊。の。役。を。た。人。を。藤。よ。さ。り。の。め。す。べ。い。山。す。て。猿。人。の。一。枝。を。と。り。可。い。と。か。つ。る。い。め。た。せん。き。を。た。も。老。乃。乃。れ。嶮。い。山。路。孤。來。い。が。う。へ。の。事。れ。よ。い。城。守。て。大。き。人。供。つ。つ。せ。ぬ。化。け。治。が。の。日。も。く。ま。足。も。痛。く。い。め。い。て。あ。ま。さ。れ。も。成。く。ご。らん。弱。き。乃。ハ。草。子。所。も。厭。ひ。ん。只。病。治。を。ん。乃。出。さ。よ。後。然。云。核。ハ。わ。か。ら。ぬ。我。も。是。も。い。ふ。か。れ。今。秋。脚。を。や。り。り。倦。た。う。せ。く。山。孤。を。さ。り。も。お。の。が。た。は。す。も。あ。ら。び。

聖れ。も。又。さ。り。が。う。い。山。の。杖。葉。等。一。乃。吳。場。大。師。乃。廣。徳。か。つ。る。乃。足。を。強。も。あ。り。く。通。秋。い。す。り。後。世。れ。の。た。の。も。字。也。さ。に。幸。の。附。り。た。吳。屠。は。秋。も。す。り。法。施。し。き。て。中。の。ふ。い。や。で。移。れ。下。道。乃。と。ら。う。さ。び。め。く。吳。廟。の。お。か。る。法。堂。法。堂。に。養。子。に。よ。り。て。雨。具。も。あ。ら。な。い。と。う。け。て。閑。よ。さ。び。い。し。け。も。秋。れ。文。ゆ。を。わ。び。も。あ。る。乃。又。十。所。は。死。て。あ。る。い。け。さ。る。林。も。い。さ。な。く。小。さ。も。掃。中。梅。田。を。う。さ。と。が。よ。ま。り。ハ。寺。院。を。く。陀。羅。尼。經。湯。け。き。も。す。え。な。本。ま。ハ。雲。と。志。の。死。て。後。さ。び。道。の。專。め。あ。れ。若。き。を。く。と。し。さ。さ。も。く。物。さ。り。た。後。さ。び。に。後。然。か。り。て。い。の。後。も。く。大。師。乃。神。化。を。ス。草。本。も。吳。を。語。れ。く。八。百。と。を。あ。ま。り。乃。今。の。う。り。く。い。の。あ。ら。す。の。う。り。た。か。り。遺。著。歴。踪。





五

三

中。平生れのみとす。此流風乃十七言。以事なり。かふつしひ出り。ね

鳥乃青も秘密の山に立。こが

後。況しそり。流焼乃光りに書つけ。今一夢も。うれと耳  
と。倚りた。あひがけ。きもき。寺院方より。若と。遊ふ。夢  
乃。歳。夜。穿。え。く。や。近。づ。れ。来。り。何。人。の。衣。着。て。海。舟。の  
や。と。舞。つ。く。も。あ。く。親。子。顔。と。見。あ。た。せ。く。息。吐。つ。め。お  
ま。瓜。の。も。油。り。居。る。た。な。や。あ。廻。乃。若。侍。橋。板。と。あ。ら。り  
小。踏。て。あ。に。来。る。お。ど。ほ。き。き。堂。の。石。は。溜。ま。か。く。う。瓜  
武士。も。争。り。見。つ。け。く。何。者。ぞ。ぞ。殿。下。れ。と。て。せ。ほ。小。疾  
下。り。と。る。あ。は。お。て。さ。し。く。美。子。瓜。を。下。り。去。る。俯。して。碗  
中。心。程。を。く。多。く。乃。是。書。字。ゆ。中。心。習。音。な。り。書。く。

驚。愕。子。直。夜。め。つ。る。貴。人。堂。に。上。り。也。ハ。後。者。乃。武。士  
口。入。心。む。り。右。た。ま。度。瓜。油。う。く。か。の。貴。人。人。々。に。あ。ひ。く  
誰。く。い。が。ど。あ。く。所。と。深。む。る。こ。に。や。と。を。あ。り。つ。つ。わ。と  
意。を。と。又。一。群。れ。足。事。て。威。儀。あ。る。武。士。既。ま。あ。け。入。り  
あ。ら。ち。交。り。く。徳。を。あ。つ。つ。堂。は。昇。る。貴。人。只。今。来。り  
し。武。士。は。び。ひ。て。常。陸。ハ。何。と。そ。く。あ。り。と。ぞ。と。あ。れ。ハ  
あ。の。武。士。の。白。の。態。谷。ハ。武。士。公。は。大。酒。酒。す。わ。た。て。ま。つ。内。と  
て。突。や。り。や。る。内。も。鮮。さ。お。一。種。酒。に。ま。い。り。ん。ん。あ。酒。は。は  
後。ま。た。て。ま。つ。り。ぬ。と。奏。を。と。ま。く。酒。殺。と。つ。み。ね。て。ま。さ。光  
あ。い。ま。す。た。だ。万。作。酌。ま。の。色。と。を。保。せ。る。向。忍。ま。り。て。英。相  
乃。あ。士。膝。乃。よ。り。て。瓶。子。と。指。く。か。ま。あ。れ。た。杯。瓜。あ。ら。り  
て。い。と。奥。あ。い。げ。な。り。貴。人。又。日。を。く。終。て。流。也。が。流。流。字。を。

居せとの病よ。ゆつぐやうかりしが。然流すりし村の方より。  
 大なる法師乃。血うちやれりて。同鼻あがりやう人の。傍夜  
 かいつらひく。社の末にまわたり。貴人古後。此をこれ同。毎  
 病よ。詳よ。善き。善き。ゆつぐ。い。と。く。悪き。あ。て。他。は。源。と  
 らせすとの病よ。一人れ。武士。乃。法師。又。回。て。い。は。山。大。徳。乃  
 啓き。あ。く。去。石。草。本。も。靈。か。た。あ。は。と。す。さ。ら。玉。川。の  
 流。よ。毒。あ。り。人。飲。付。ハ。發。る。が。故。よ。大。師。れ。ゆ。ゆ。あ。奇。と。そ  
 け。す。れ。も。汲。や。つ。と。ん。旅。人。乃。聖。れ。奥。志。玉。川。の。あ  
 せ。い。と。紙。字。傳。へ。り。大。徳。乃。さ。を。う。た。は。毒。あ。る。流。よ。と。や。ど  
 酒。て。い。果。し。給。ま。ぬ。や。い。ぬ。う。た。り。或。是。下。に。い。う。た。毎。へ  
 あ。い。法。師。笑。ひ。く。ま。て。い。い。は。は。奇。ハ。同。歌。集。に。撰。入。給。よ。  
 玉。川。乃。奥。の。院。ま。わ。り。た。よ。玉。川。と。い。は。れ。ぬ。あ。上

小毒出おほくけ。は。い。流。瓜。飲。す。た。う。と。志。め。い。ま。ま。て  
 後。よ。ゆ。り。け。と。あ。わ。を。給。た。是。下。の。お。ほ。え。ぬ。あ。め。く  
 ち。と。され。と。今。れ。内。野。の。傳。言。や。ぬ。た。大。師。ハ。神。通。自。在。あ。り。て  
 隠。神。と。役。し。道。さ。ら。瓜。切。の。地。置。と。鑄。よ。い。去。と。穿。より。も  
 易。く。大。蛇。と。擗。り。他。多。瓜。葉。は。し。り。給。よ。天。が。下。れ。人。の。作  
 る。た。て。ゆ。つ。切。か。る。瓜。あ。よ。い。は。い。た。塔。の。洞。を。ゆ。つ。か。ぬ。  
 乃。と。より。け。玉。河。て。い。川。ハ。國。く。ま。あ。り。と。づ。瓜。瓜。よ。め。飲。と  
 せ。流。乃。き。り。た。と。巻。し。さ。ら。瓜。あ。た。あ。れ。玉。川。も。毒。あ。る。流  
 小。あ。り。で。な。れ。意。も。か。た。り。名。よ。負。河。乃。け。山。よ。あ。る。瓜  
 あ。よ。消。づ。る。人。ハ。忘。し。く。も。流。瓜。の。清。き。よ。受。て。子。は。擗。び  
 つ。ん。と。よ。め。せ。ぬ。あ。る。あ。ん。瓜。後。れ。人。の。毒。あ。り。と。い。狂。言  
 より。い。塔。洞。を。は。く。り。あ。せ。り。の。う。も。志。ま。さ。て。や。り。又。涼。く

影人といふはけ。致八調。今れ。京の祓乃。口。同。も。あ。は。な。
 よ。そ。け。國の古。致。よ。も。獲。玉。簾。珠。夜。の。敷。ハ。形。と。ほ。り。清。き。
 と。當。る。清。る。清。り。清。る。清。る。も。玉。あ。玉。井。玉。河。も。あ。ひ。
 たり。毒。あ。る。流。玉。紙。あ。ど。玉。て。玉。致。ハ。冠。く。し。ん。強。子。佛。と。
 たり。む。人。の。致。れ。言。は。細。妙。り。ぬ。ハ。ろ。れ。ぬ。ど。れ。致。ハ。清。ら。と。も。
 ち。づ。る。あり。是。下。ハ。致。む。び。人。も。お。た。せ。と。け。致。れ。言。英。一。
 み。致。ハ。用。言。あ。る。り。了。と。篤。く。感。に。る。貴。人。と。り。め。
 ん。も。け。と。わり。と。頻。りに。感。を。致。人。清。堂。乃。ろ。致。れ。方。に。
 仏。法。く。と。啼。き。あ。ち。り。り。ゆ。ゆ。よ。貴。人。杯。と。あ。げ。あ。ひ。て。例。
 の。致。絶。て。つ。ざ。り。し。今。致。の。海。島。よ。業。あ。る。ぞ。結。巴。い。た。と。
 深。と。あ。よ。法。師。か。こ。ま。り。と。果。が。短。白。公。も。清。耳。す。び。は。し。
 清。人。あ。よ。旅。人。の。通。致。し。け。る。り。今。の。世。乃。佛。佛。風。と。ま。し。

て。傳。る。公。あ。ん。あ。つ。じ。く。か。と。さん。は。別。く。せ。せ。と。い。ふ。そ。ま。
 及。せ。と。保。せ。る。り。に。あ。き。は。け。け。ひ。愛。然。り。方。へ。む。ひ。別。の。人。
 ぞ。ち。ろ。う。ほ。の。れ。と。云。愛。然。も。わ。え。で。お。そ。致。し。され。す。よ。
 清。ま。れ。あ。り。へ。と。い。ひ。出。る。法。師。愛。然。も。せ。ひ。お。に。よ。と。つ。つ。詞。と。
 公。よ。中。と。す。と。い。ふ。愛。然。あ。る。く。何。と。り。中。つ。る。文。に。免。え。け。り。は。
 只。教。し。致。を。し。と。云。法。師。か。さ。ひ。て。秘。密。乃。山。と。平。所。と。也。致。下。
 乃。同。せ。あ。ひ。い。そ。致。中。と。す。と。い。ふ。愛。然。い。ふ。く。恐。ま。と。致。下。と。保。
 せ。出。され。傳。る。も。能。あ。る。わ。と。せ。あ。ひ。か。向。涼。山。よ。致。宴。と。り。よ。
 ほ。し。致。あ。文。よ。い。づ。り。た。り。子。傳。る。と。い。ふ。法。師。言。へ。て。致。下。と。
 中。ま。る。ハ。岡。白。秀。次。公。と。わ。と。と。せ。あ。ひ。人。く。ハ。本。村。常。陸。女。權。致。
 淡。路。白。江。後。後。然。谷。大。橋。栗。野。壺。日。比。野。下。孫。山。口。少。雲。凡。毛。
 不。心。隆。西。入。道。山。平。主。教。山。田。三。十。市。不。破。万。作。か。く。云。ハ。結。巴。



法橋の御書に云はしき後乃活月乃えつらほつりたるも亦れとを  
 いそ死中工よしのひ。既よ髪あをぬとてたむりにいしき  
 肝魂も君よかへるあらしめて。据あて。既臨囊より活き紙取  
 びく。筆も志と病よ書つけくさ。此と瓜を敷取てたうく  
 吟ト上局

多れ者も秘密の山入の翁こう那

貴人字を給ひき。口ぐうくもはりほつりしあ。此は末の  
 まうせとのこまふよ。山田三十命彦瓜をみく。果つらうは  
 つんそ。あうらうらひふまきくわくかん

菘子たきゆとみづの翁の体

いぢあふれと結巴よんさる。下流く海うたれ方と公入  
 おいせととんあひて。所取もあぬんと奥ト給ひく。

又林と揚くわぐし給ふ。漢語とウスル一人あかよを瓜  
 遠へく。ち修神の雨もや。阿修羅ども血逆ひに事とウス  
 ゆる。立せ也とひと。一社れ人々忽面血と潰ぎくわく。いざ  
 石田増田が後よ今秋も泡吹せんと勇きて立蹙く。秀次本村  
 よ向を也給ひ。うら死奴も我安とたせつる我。他二人と候  
 我よつれ事也と課せある。老居れ人々片隔りて怒とせら  
 へいませ余は死ざる者あり。例ハ悪業をせよをあひせといふ  
 何も人々此形もまきく雲井よけがでく。親子の氣給く志  
 むらぐらち死入るる。若のめれめくやん。ふるあけ冷やうか  
 ほよ生却かど。いませめきくぬ怒さる。大師の血名瓜せき  
 く喝へつ。漸日出ると及て。いそ死山瓜をどり。系にかたりく  
 茶滅の保書紙かける。一日爰熱三束の橋とさる内悪きや



が高きく家系も正しけり。吾が家子固きゆゆ果て祥  
ふし。けり。此れ神人の老が終り不なり。大人の内んいうまはぼさん  
やとの。庄を夫大は終ひよくも送を終りぬ。けり。我家は  
そりて子と也乃計りるととも。香央は國の貴族にて。我ハ  
氏を祀りてあり。門戸敵すべし神だ。おそくくハ肯ひの終り  
孫氏はね笑とつり。大人の徳り終りて甚し。我が子  
万葉と視へしと。往て香央は説を彼方にしよ終りては  
妻のりぬ。ゆもかてつり。妻もいさきてい。我女子既十七  
歳にありぬ。此ハ物夕に人づれ娶せんぬ。ゆと。人もをわ付  
らむ。と争く日紙をみる。聘礼と納金と。後まきむれむ。盟  
約す。にありて井沢まかりて。而聘礼と厚くその  
送り納金よ。祀日とそりて。婚儀とゆはほり。けり。於幸と神は

初る。ゆて。巫子祝詞と。吾のゆき。湯をたてゆつ。けり。ゆも  
く。尚社子。初誓す。商人の。數乃。後物紙。供へて。湯を。まき  
吾。祥。函。祥。と。ゆ。巫子。祝詞。と。ま。湯の。沸。上。る。た。か。ま。ひ。く。  
吾。祥。雨。を。冷。乃。の。吾。牛。此。呪。る。が。ゆ。一。函。き。ハ。登。に。吾。な。し。是  
を。吾。使。津。乃。清。谷。後。と。ゆ。さ。る。香。央。が。家。れ。子。ハ。神。此。初。さ  
せ。終。る。ぬ。も。只。秋。の。中。に。最。又。ま。き。て。な。り。此。終。り。も。や。あ。り。子  
疑ひ。紙。を。う。て。け。祥。と。妻。に。う。て。し。妻。父。子。疑。を。紙。清。谷。乃  
吾。あ。り。し。ハ。祝。詞。等。が。乃。此。清。う。ぬ。ゆ。ぞ。あ。り。免。脱。し。聘。礼。紙  
納。り。う。へ。ぬ。赤。繩。子。繫。ぎ。て。ハ。仇。あ。る。家。矣。な。る。域。た。り。も  
易。べ。く。流。と。す。ぬ。ぬ。紙。あ。る。井。沢。ハ。本。末。も。あ。り。て。人  
乃。信。ま。て。授。あ。る。家。と。す。け。た。今。吾。む。も。羞。む。ら。し。と。は  
佳。婿。乃。廉。さ。る。紙。は。の。す。て。我。兒。も。日。紙。が。そ。り。て。ゆ。り。あ。る。お

と今れよめぬ言とせりののめりた。不意なるゆゑ仕出ん。そ  
と死候ともかつじと言紙屋として保じまん。尚てん女乃  
意をえりて。香央も後来祢がよ因にたれ深く疑をん。  
妻れやをな流し婚儀のひ。あまれ親族氏族を中を。  
毎の万代とうみあとお記たり。香央の女子後良のこは性て  
より。風は起ちて。常に男姑の傍と去む。史が性紙えり  
て。心紙をて仕へた。井沢史婦ハ孝節と忠とを執び  
小耐候を。正を節もそ志を愛てむ。尚てんかてひたり。されど  
おのが向乃新てる性ハいよせん。つれはより鞠のけれ神と  
よめ女よあつてみく。遂に腰ひ出し。ちり記里子別居候  
あつてひ。かこ目紙うまひて。あにうて。後良もそ紙悲とそ。  
或ハ男姑乃急は控へ保め。或目人流ちる心紙うみかてども。

大虚子のそ守りて。後ハ月紙をとりて。おのり。又ハ後良が  
切る。止とらるに悲びを。正を節紙を。押紙なる。後良これ  
と忠かりて。おのれ。おのれ。突やうん。おのれ。おのれ。おのれ。  
と胸りて。信れり。そり紙つてけり。一日又が若よあ。おのれ。  
正を節紙を。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。  
のま。又乃面と和あま。人。渠ハ後良れ。おのれ。おのれ。おのれ。  
おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。  
つる。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。  
後中。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。  
送の。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。  
おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。おのれ。













雨さふりて霧きぬ秋れさぬ。雲と薄く朝つらけぬ。秋は  
 日更よつて下屋の窓に紙よこし赤き光さしてあかあや  
 ちにも照つるすゝの窓。涼き秋よいのと凄しく髪も中  
 毛もあつてを降立まき。ちぢくくつ花入つり。ゆきば秋れさぬ  
 とあつり。そなれたぬる紙巻ひいては月日の子葉とあつりも  
 久し。あつり鬼も秋下り家と寝る。或は屋の株も伸びく。あ  
 ちる髪をすりにすゝぬ。あつりて四十二日といふおあつり  
 まぬ。今も一秋にすゝぬ。秋は晴れてや。又文乃天も志  
 らくといふさつりぬ。秋はあつりあつりあつりあつりあつり  
 雲にすゝりてうらやまき。あつりあつりあつりあつりあつり  
 面とんご。あつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 公和さま人眠さぬ。秋もあつりあつりあつりあつりあつり

さつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 めるさつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 まつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 芥もあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 月もあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 めもあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 も。あつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 りとあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 美もあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 ふもあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 さんどあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり  
 あり。あつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり

こまゝ。おふの影さうり此のもや。浅ましくもあをぬりさの  
弟よつとてぬうもあはれけん。夜もめくちの死跡山を探さが  
りてむせども。つひよをぬえあきてやぬ。此の夕井沢が家へも  
いひあつてぬえた。浅まぐりに香央かうやうも若者わかあはれ。これハ陰陽  
師しがあつちをぬり。浅まぐりに陰陽いんやう師しがあつちをぬり。浅まぐりに  
たふとろうけつとあつちをぬり。

雨月物語三々巻終



